

ロレアル社 国際的な環境評価 NGO である CDP より サステナビリティの世界的リーダーとしての評価を 3 年連続で獲得 — ブリュッセルでの授賞式にて表彰 —

2019 年 2 月 20 日

ロレアルグループ(本社:パリ)は、2 月 19 日にブリュッセルにて開催された CDP*の授賞式にて、3 年連続サステナビリティのグローバルリーダーとして表彰されました。このたびの受賞は、ロレアルのサプライチェーンにおける二酸化炭素排出量の削減、水資源管理の強化、森林伐採への対策が評価されたものです。

*CDP は 2000 年に設立されたプロジェクト「カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト」がその前身である。企業の気候変動への戦略や温室効果ガスの排出量に関する公表を求めるプロジェクト。企業活動に対する分析・評価を公開し、企業価値を測る重要な指標の一つになっている。

ロレアルが獲得した AAA 評価は、当グループが掲げる持続的発展のためのコミットメント「Sharing Beauty with All」(美のすべてを、共に次世代へ)をいち早く 2013 年に導入以来、サステナビリティに取り組み、進歩を続けてきたことを示しています。同コミットメントは、製造過程や原材料の調達を含む、製品開発から流通にいたるまでのすべての段階における 2020 年までに達成すべき、より良い環境や社会のための取り組みを示しています。

2018 年「Sharing Beauty with All」の成果は下記のとおりです。

- **ガス排出量 77%削減:**ロレアルの工場や流通センターから排出されるガスは 2005 年比で 77%削減しました。また、31 の施設がカーボンニュートラルを達成しました。
- **工場の水消費量 48%削減:**ロレアルの工場で消費される水は 2005 年比で 48%削減しました。2018 年末の時点で、ロレアルグループは 3 つのドライファクトリーを所有しています。

今回の受賞について、ロレアルのチーフ テクノロジー&オペレーションズ オフィサーであり、エグゼクティブ コミッティーのメンバーでもあるバーバラ・ラヴェルノスは次のように述べています。「3 年連続で AAA 評価を受けたことを大変誇りに思います。これは、25 年間にわたって革新的なサステナビリティ政策を推進してきた結果です。高度な精緻さと卓越した評価システムを持つ CDP のような組織は、より高レベルな目標に挑戦し、ガス排出量、水消費量、廃棄物の削減という長期的取り組みを加速させる後押しをしてくれています。」

「Sharing Beauty with All」プログラムの柱は以下の 4 つです。

- **イノベーションにおける持続的発展:**全ての製品が環境に優しく、社会的に有益であるようにすること
- **生産における持続的発展:**工場や流通センターの環境に与える負荷を削減すること
- **暮らしにおける持続的発展:**お客様が持続可能な消費の選択をできるようにすること
- **社員・サプライヤー・コミュニティにおける持続的発展:**コミュニティ、サプライヤー、社員というグループのすべてのステークホルダーと成長を共有すること

・ロレアルグループ全体の取り組みはこちら <https://www.loreal.fr/sharing-beauty-with-all>

・日本ロレアルの取り組みはこちら <http://www.nihon-loreal.jp/csr/sustainability/2018/>

ロレアルグループについて (<https://www.loreal.com/>)

1909 年にパリで化学者ウージェンヌ・シュエレルによって設立され、世界 150 カ国・地域で事業を展開し、82,600 人の従業員を有する世界最大の化粧品会社です。「ランコム」「シュウ ウエムラ」「キールズ」「イヴ・サンローラン」「ロレアル パリ」「ロレアル プロフェッショナル」「メイベリン ニューヨーク」など、34 ブランドをグローバル規模で展開しています。

日本ロレアルについて (<http://www.nihon-loreal.jp/>)

1963 年から事業を開始し、1996 年に日本法人である日本ロレアル株式会社が設立されました。2,500 人の従業員を有し、化粧品の輸入、製造、販売、マーケティングを行っています。現在、上記のブランドを含め 18 のブランドを取り扱っています。